

(1) 23年度・学校経営計画

建学の精神 ・ 綱領 ・ 校訓

- 建学の精神
「正己以格物」
人格、徳性の涵養並びに知性を錬磨し、社会の要請に応える。
- 綱領
高く志を立て、広く知を求め、深く理を探り、正しく生きる。
- 校訓
開拓
心身の鍛錬を図ることにより、健全でたくましい実践力を養い未来を開拓する人間を育てる。
創造
豊かな知性と情操を養い、個性・能力を伸ばすとともに、文化遺産を継承し、時代にさらわしい文化を創造する人間を育てる。
協力
自ら努力を重ねるとともに、互いに人格を重んじ、他人と協力して社会の発展に貢献する人間を育てる。

目指す学校像（中・長期的展望）

生徒の希望進路実現に邁進し、県内随一の私立進学校としての矜持を保持する。

- (1) 「育てる」教育の目標の下、生徒一人ひとりの夢により添い、その夢の実現にむけて、全校一丸となって取り組む学校をめざす。
- (2) 確かな学力と豊かな人間性を基盤として、誠実で気概があり、品位のある人間を育てる学校をめざす。
- (3) 校内外の活動に積極的な参加を奨励し、生徒が自信と誇りを持って通学できる学校をめざす。
- (4) 地元国公立大学並びに旧帝大クラス、著名私立大学へ毎年複数の合格者を出すとともに、40周年にむけて東大クラスへの合格者を出せるよう、学校力の向上に努める学校をめざす。

平成23年度の学校目標

- (1) 確かな学力と豊かな人間性を養い、生徒一人ひとりの希望進路実現のため、常に良質な教育活動を展開する。
- (2) 明るく節度ある学校生活の下、生徒に安心と安全を保證できる教育環境の整備と維持に努める。

平成23年度の指導の重点

- (1) 学習指導の充実
 - ・ 生徒の学ぶ意欲を引き出し、学力の向上を図る。
- (2) 生活指導の徹底
 - ・ 明るく節度を弁えた生徒を育てるために、教師自ら率先垂範に努める。（挨拶、品位ある服装、時間厳守）
- (3) 進路指導の充実
 - ・ 生徒一人ひとりの能力と適性を的確に把握し、計画的・組織的な進路指導を実施する。
- (4) 特別活動の振興
 - ・ 学校生活にうおいと喜びを見い出し、人間力の向上を願って、特別活動への積極的な参加を促す。
- (5) 研修の充実
 - ・ 教師は常にその資質と指導力の向上に精励し、一致協力して学校力の向上に努める。

平成23年度の校務分掌の重点目標・具体的な取組

教務部

- 重点目標
新学習指導要領への対応及び学習指導の充実を図るため、校内における教育計画の改訂・整備をすすめる。
- 具体的な取組
 - ・ 平成24・25年度入学生に対応する教育課程表の編成作業を完了するとともに、編成内容の周知徹底を図る。
 - ・ 総合的な学習の時間、道徳教育、特別活動について、関連する分掌と連携しながら全体計画を作成し、実施内容の整備を図る。
 - ・ 授業力の向上を図るため、教科及び教科間の授業研究の機会を設ける。

企画部

- 重点目標
入学者250名（定員）を確保する。
- 具体的な取組
 - ・ 広報活動をより充実させるために、ホームページの内容を更に充実させ、ホットな情報を迅速に発信する。
 - ・ 中学生・保護者に本校を知ってもらう体験イベントの参加者を多く確保する。体験入学1000名、受験講習会400名。

管理部

- 重点目標
安全な施設の整備を進め、安心して学べる環境を提供する。
- 具体的な取組
 - ・ 施設・設備の維持・管理に努める。
 - ・ 図書の実用と読書の啓蒙に努める。
 - ・ 視聴覚機器の維持管理に努める。

生徒指導部

- 重点目標
生徒が明るくいきいきと生活できる健全な校風の確立。
- 具体的な取組
 - ・ 登校時の玄関指導を各学年で実施する。
 - ・ 委員会が月毎に各クラスの「服装状況調べ」を実施する。
 - ・ 生徒会を中心とした、生徒による自主的な生活指導の推進。
 - ・ 生徒募集と連動した、二高祭一般公開の内容の充実。
 - ・ 二高祭・芸術鑑賞会を通じた地域貢献と開かれた学校づくりの推進。
 - ・ 予算の工夫や中学校との連携を通じた部活動の活性化。
 - ・ 部活動の振興を目的とした校内インフラの整備。
 - ・ 学校危機管理マニュアル等の整備と改訂。
 - ・ 緊急時に対応したメール配信システムの構築（教務部と連携）。

進路指導部

- 重点目標
キャリア教育の推進及び進路実績の向上
(大学短大進学率70%、国公立大学30名合格)
- 具体的な取組
 - ・ キャリア教育の実践 — 社会を構成する一員としての職業人の育成をめざす。
 - ・ 進路実績の向上 — 難関大学合格を含む個々の希望進路実現のための学力の向上を図る。
 - ・ 進路情報の共有と研究 — 連携会議を活発化し、今年度の進路目標達成に向けて全職員が一丸となって取り組むよう、啓蒙を図る。

保健部

- 重点目標
3年生の麻疹予防接種率を90%以上に高める。
- 具体的な取組
 - ・ 学年集会の場で保健部から予防接種の必要性を訴える。
 - ・ 「学年だより」の中に接種呼びかけの記事を載せる。
 - ・ 保健室からアンケート結果をもとに未接種の生徒に呼びかける。

渉外部

- 重点目標
PTA行事や各種委員会活動への参加率を向上させる。
- 具体的な取組
 - ・ 案内文書の適切かつ確実な配布時期の徹底。
 - ・ PTA委員・役員の連絡網の整備。
 - ・ ホームページ上に案内文書を適宜掲載する。

平成23年度の学年の重点目標・指導の重点

1学年

- 重点目標
高校生（二高生）としての自覚の確立
- 指導の重点
 - ・ 基礎学力の充実、学習習慣の定着。
 - ・ 基本的行動・規範意識の確立（挨拶の励行、適切な言動、規律ある心理的環境づくり）。
 - ・ 進路意識の向上（自己の特性発見）。

2学年

- 重点目標
高校生としての確かな自己形成
- 指導の重点
 - ・ 日常生活の安定と充実。
 - ・ 学力向上のための意欲的な取り組み。
 - ・ 諸行事への積極的な参加と成功。

3学年

- 重点目標
志望進路の達成
- 指導の重点
 - ・ 責任ある言動を目指した基本的な生活習慣の確立。
 - ・ 授業中心の学習習慣と自学自習。
 - ・ 個を重視した進路目標の達成。

(2) 平成23年度学校評価アンケート・全学年の生徒対象（集計結果）

評価項目	評価内容	4	3	2	1	0
		よくあてはまる そう思う	ほぼあてはまる ほぼそう思う	あまりあてはまらない あまりそう思わない	あてはまらない そう思わない	判断できない わからない
学習	A コースの特色に応じた授業や行事が行われ、積極的に勉強できる環境が整えられていると思いますか。	34.5%	47.8%	12.2%	2.5%	3.1%
	B 先生は個別の学習指導（添削・質問への対応・二者面談など）をしてくれていると思いますか。	36.8%	43.3%	13.6%	2.9%	3.4%
	C NSP（土曜出校日）の小論文講座・コース行事は、将来、役に立つ内容だと思いませんか。	17.4%	39.5%	23.2%	12.2%	7.7%
	D 二高は、生徒の心身に関する相談体制（カウンセリングなど）が、整備されていると思いますか。	25.1%	40.2%	16.7%	3.8%	14.2%
生活	E 二高生は明るく学校生活を送っていると思いますか。	33.1%	45.7%	14.0%	2.2%	5.0%
	F 二高生は、服装・髪型がきちんとしており、あいさつが身についていると思いますか。	13.5%	40.6%	30.6%	9.5%	5.8%
	G 先生は生活指導（服装指導・あいさつ・問題行動への対応など）がきちんとしてくれていますか。	32.9%	45.6%	13.5%	4.1%	3.9%
	H 二高では、運動部および文化部の活動が、積極的に行われていると思いますか。	26.0%	38.8%	21.4%	7.9%	5.9%
進路指導	I 球技大会・文化祭・体育祭などの学校行事に、積極的に参加していますか。	44.5%	35.4%	13.3%	3.6%	3.2%
	J 二高では、生徒の一人一人のことをきちんと把握し、適切な進路指導が行われていると思いますか。	21.0%	45.6%	19.2%	4.8%	9.3%
その他	K 進路講演会・進路便り・進路センターなどで、進路に関する情報を十分に知ることができましたか。	20.8%	46.3%	17.6%	4.1%	11.1%
	L 二高の生徒募集用パンフレットや学校説明会で、二高の特色がわかりましたか。	19.9%	44.0%	19.2%	5.7%	11.1%
	M 二高の目標・進学実績・教育内容は、市内の他の私立高校とははっきりとした違いがあると思いますか。	23.2%	36.8%	18.0%	5.4%	16.7%
	N 二高は、校舎内外の清掃や補修活動など、学校の環境整備に積極的に取り組んでいると思いますか。	22.6%	44.2%	19.2%	6.3%	7.7%
	O 二高は、あなたにとって誇りの持てる学校ですか。	30.9%	40.8%	13.8%	4.7%	9.7%

(3) 平成23年度学校評価アンケート・全学年の保護者対象（集計結果）

評価項目	評価内容	4	3	2	1	0
		よくあてはまる そう思う	ほぼあてはまる ほぼそう思う	あまりあてはまらない あまりそう思わない	あてはまらない そう思わない	判断できない わからない
学習	A コースの特色に応じた授業や行事が行われ、積極的に勉強できる環境が整えられていると思いますか。	22.5%	62.0%	6.8%	0.9%	7.7%
	B 教員は個別の学習指導（添削・質問への対応・二者面談など）を適切に行っていると思いますか。	22.0%	52.3%	10.2%	3.1%	12.4%
	C NSP（土曜出校日）の小論文講座・授業・コース独自の活動は、生徒にとって有益だと思いませんか。	35.8%	45.1%	9.9%	3.1%	6.2%
	D 教員は授業方法を工夫し、生徒がわかるための授業を行っていると思いますか。	13.3%	53.6%	16.1%	1.2%	15.8%
生活	E 生徒は明るく学校生活を送っていると思いますか。	34.8%	55.0%	6.5%	2.2%	1.6%
	F 生徒の服装・髪型がきちんとしており、挨拶が身についていると思いますか。	20.7%	60.8%	12.7%	3.4%	2.5%
	G 教員による生活指導（服装指導・挨拶・問題行動への対応など）がきちんとして行われていると思いますか。	24.6%	54.8%	8.9%	3.1%	8.6%
	H 運動部および文化部の活動が、積極的に行われていると思いますか。	24.3%	51.1%	13.8%	4.6%	6.2%
進路指導	I 生徒の能力や適正をきちんと把握し、計画的・組織的な進路指導が行われていると思いますか。	17.8%	50.6%	11.9%	3.4%	16.3%
	J 進路講演会・学年保護者懇談会・進路便りによる進路情報の提供が、十分に行われていると思いますか。	19.4%	55.9%	12.7%	3.4%	8.6%
その他	K 講演会・学年保護者懇談会・母親研修会・公開授業日などに、都合が良ければ参加したいと思いませんか。	24.1%	54.3%	14.2%	4.3%	3.1%
	L PTAの各種集会について、PR活動や案内文の配布時期は適切だと思いませんか。	19.7%	59.1%	10.5%	1.2%	9.5%
	M 本校の目標・進学実績・教育内容は、市内の他の私立高校とははっきりとした違いがあると思いますか。	26.5%	43.1%	10.8%	1.2%	18.5%
	N 校舎内外の清掃や補修活動など、学校の環境整備に積極的に取り組んでいると思いますか。	20.3%	56.9%	8.0%	2.8%	12.0%
	O 本校の教育内容（授業・進路指導・生活指導）は、総合的に満足できるものですか。	23.1%	54.0%	10.5%	2.5%	9.9%

(4) 平成23年度学校評価・校務分掌の中間報告について

(学校評価委員会事務局・平成23年9月28日)

担当	今年度の分掌目標 (今年度の指導の重点達成のため、分掌で掲げた目標)	今年度の具体的取組 (今年度の分掌目標達成のため、具体的に取組むべきもの)	取組度	取組の評価できる点 ・ 今後改善すべき点
教務部	新学習指導要領への対応及び学習指導の充実を図るため、校内における教育計画の改訂・整備をすすめる。	平成24・25年度入学生に対応する教育課程表の編成作業を完了するとともに、編成内容の周知徹底を図る。	4	平成24・25年度入学生の教育課程表については、教科・コースの意見を集約して、第2案を作成する段階である。今後は、計画通りに編成作業を進め、10月下旬の完了をめざしたい。
		総合的な学習の時間、道徳教育、特別活動について、関連する分掌と連携しながら全体計画を作成し、実施内容の整備を図る。	2	総合的な学習の時間の計画は学年・授業担当者に、道徳教育は授業担当者に、特別活動は進路指導部・学年に計画を任せている状況であり、全体計画としてまとめていない。今後は、現時点までの実施内容を整理・統合し、具体的に作成を進めていきたい。
		授業力の向上を図るため、教科および教科間の授業研究の機会を設ける。	2	研究機会については教科に任せ、教務部から具体的な依頼はしていない。今後は、教科毎に授業研究の日程を設けてもらうなどと共に教務部が校内全体の日程を設定していきたい。
企画部	入学者250名(定員)を確保する。	広報活動を充実させるために、本校ホームページの内容を充実させ、ホットな情報を迅速に発信する。	3	企画部の他に、美術コースでは頻りにHPで更新をしている。他の分掌においても生徒指導部中心に新情報を提供している。
		中学生・保護者に本校を知ってもらう体験イベントの参加者を多く確保する。体験入学1000名、受験講習会400名。	4	体験入学では千名を超える生徒、保護者に来ていただいた。12月の講習会でも多く集めて、入試につなげたい。
管理部	安全な施設の整備を進め、安心して学べる環境を提供する。	施設・設備の維持・管理に努める。	3	震災復旧の工事が予定通り行われた。スズメバチの巣の撤去、節電への取り組み、ガラスなどの破損箇所の修繕もその都度行われた。
		図書の実と読書の啓蒙に努める。	3	利用者は以前に比べ、徐々にではあるが増えている。図書の種類も分野が偏らないよう注意して受入れしている。
		視聴覚機器の維持管理につとめる。	3	特別教室の視聴覚機材の設置、LL教室の整備、音楽室・生物室・アトリエの液晶テレビの設置、テレビ回線の地デジ化を行った。
生徒指導部	生徒が明るくいいきと生活できる健全な校風の確立。	登校時の玄関指導を各学年で実施する。	4	<ul style="list-style-type: none"> 各学年で毎日実施している点で評価できる。 スカートを通して入ってくる生徒が徐々に増えてきた。 朝のHR、帰りのHRでも指導してできるとさらに良いと思われる。
		委員会が月毎に各クラスの「服装状況調べ」実施する。	3	<ul style="list-style-type: none"> 毎月ではないが実施した。今後も実施する方向である。 アンケートの取り方の工夫をし、新聞にすることも検討中である。
		生徒会を中心とした、生徒による自主的生活指導の推進。	4	<ul style="list-style-type: none"> 朝、あいさつ運動の励行(週2回)。検討…規律安全委員も参加した方が良いと思われる。
		生徒募集と連動した、二高祭一般公開の内容の充実。	3	<ul style="list-style-type: none"> 一般公開については、昨年度より良かった。さらに充実させるには、準備期間がもう少しあれば→二高祭の準備期間の週は講習がない方向で改善していくべきだ。学校全体でまとまって雰囲気作りも大切。 体験入学との連動。二高祭の一日を体験入学にあてる(2回展示を行うのが大変)。 行事を分散して欲しい。学年行事デーを球技大会にしたらどうか。 知の講座、体験入学と連動。球技大会の分離を検討(6月か9月へ)。
		二高祭・芸術鑑賞会を通じた地域貢献と開かれた学校づくりの推進。	4	<ul style="list-style-type: none"> 地域貢献をかねて、芸術鑑賞会には近隣の老人ホームの方々を招待する予定である。
		予算の工夫や中学校との連携を通じた部活動の活性化。	2	<ul style="list-style-type: none"> 予算の工夫はしている。 中学校との連携は、なかなか難しいのが現状である。 二高祭での食券→生徒募集の予算から捻出。
		部活動の振興を目的とした校内インフラの整備。	2	<ul style="list-style-type: none"> 外の部活動については、スーパーハウスをお願いしたい。 ソフト面での充実を(部活動支援コーチ活用案の検討をしていく)。
		学校危機管理マニュアル等の整備と改訂。	4	<ul style="list-style-type: none"> 来年3月までに改訂版を作成する予定である。

担当	今年度の分掌目標 (今年度の指導の重点達成のため、分掌で掲げた目標)	今年度の具体的取組 (今年度の分掌目標達成のため、具体的に取り組むべきもの)	取組度	取組の評価できる点 ・ 今後改善すべき点
生徒指導部	生徒が明るくいいきと生活できる健全な校風の確立。	緊急時に対応したメール配信システムの構築（教務部と連携）。	4	<ul style="list-style-type: none"> 作業が少し遅れているが、これから配信実験の予定である。 スクールバスへの対応を視野に入れて、冬期までに配信を開始したい。
進路指導部	キャリア教育の推進及び進路実績の向上。 (大学短大進学率70%、国公立大学30名合格)	キャリア教育の実践—社会を構成する一員としての職業人の育成をめざす。	3	3の下。総合的な学習（1年）、ジョブカフェ・ハローワーク指導員による職業観の育成を実施。卒業生をシンクタンクとして講話会や相談会、面接指導、インターンシップの受入れ等の整備が課題。
		進路実績の向上—難関大学合格を含む個々の希望進路実現のための学力の向上を図る。	3	3の中。各学年の取り組みの調整、学期毎の開始時点での行事確認・整備を実施。スタサボを含む模試結果の分析、ゼミの設定等に課題あり。
		進路情報の共有と研究—連携会議を活性化し、今年度の進路目標達成に向けて全職員が一致団結して取り組むよう、啓蒙を図る。	3	3の中。連携会議は実施。情報共有の面で一応の進展はあるが、そこから検討項目を抽出し、審議に到っていない点が課題である。
保健部	3年生の麻疹予防接種率を90%以上に高める。	学年集会の場で保健部から予防接種の必要性を訴える。	3	学年全体では呼びかけはしていないが、LHR・SHR等で担任を通して生徒に呼びかけをした。
		「学年だより」の中に接種呼びかけの記事を載せる。	3	「学年だより」ではないが、接種のプリントを配付し、呼びかけをした。
		保健室からアンケート結果をもとに未接種の生徒に呼びかける。	2	アンケートの取りまとめ、集計が夏休み中なので、名簿を確認の上、個別の呼びかけは今後の活動となる。
渉外部	PTA行事や各種委員会活動への参加率を向上させる。	案内文書の適切かつ確実な配付時期の設定。	3	同じ時期に案内文書が複数重なることがあり、もう少し日程を調整できれば良い。
		PTA委員・役員の連絡網の整備。	3	昨年の反省もあり、今年度は適切に発送できたが、年度途中での委員増もあり、なかなか確定版が完成しない。
		ホームページ上に案内文書を適宜掲載する。	3	今後とも全体向けの文書をのせていきたい。

(5) 平成23年度学校評価・自己評価の最終報告

達成度の段階評価	4	きちんと達成できた	達成度 80%以上
	3	ほぼ達成できた	達成度 50～79%
	2	あまり達成できなかった	達成度 20～49%
	1	全く達成できなかった	達成度 19%以下

今年度の指導の重点 (今年度の学校目標達成のため、今年度、重点的に取り組むべきもの)		達成度	次年度に - 継続していきたい成果・改善すべき課題
(1) 学習指導の充実	生徒の学ぶ意欲を引き出し、学力の向上を図る。	3	学習等の活動時間を記録した個人ファイルを毎日点検するなど、家庭学習の定着や時間確保を図っている。
(2) 生活指導の徹底	明るく節度を弁えた生徒を育てるために、教師自ら率先垂範に努める。(挨拶、品位ある服装、時間厳守)	3	授業の開始時間の厳守が呼びかけられ、授業がチャイムと同時に進められるようになった。挨拶や服装についても、朝指導等の強化が図られ改善に向かいつつある。
(3) 進路指導の充実	生徒一人ひとりの能力を的確に把握し、計画的・組織的な進路指導を実施する。	3	総合的な学習の時間を利用した進路発見学習を通して、生徒自身が自分の夢を見出し、夢に至るまでには大学等で何を学ばなければならないのかを知り、その目標を定め、学習意欲を喚起している。さらに3年生の合格体験発表会などの企画で、学習意欲を先輩から後輩へと繋げている。
(4) 特別活動の振興	学校生活にうらおいと喜びを見だし、人間力の向上を願って、特別活動への積極的な参加を促す。	3	「勉強も部活動も手を抜かない」という意気込みで、高校生活を充実したものとしている。さらに、個人やグループで学外の研究会に積極的に参加し、自信と意欲を充実させ、学力の伸びへと繋げている。
(5) 研修の充実	教師は常にその資質と指導力の向上に精励し、一致協力して学校力の向上に努める。	3	県私学研修会や年2回の校内研修会、さらに臨時の研修会が実施され、教員全体の意識改革を図り、知識技量の向上に努めている。

担当	今年度の分掌目標 (今年度の指導の重点達成のため、分掌で掲げた目標)	今年度の具体的取組 (今年度の分掌目標達成のため、具体的に取り組むべきもの)	達成度	次年度に - 継続していきたい成果・改善すべき課題
教務部	新学習指導要領への対応及び学習指導の充実を図るため、校内における教育計画の改訂・整備をすすめる。	平成24・25年度入学生に対応する教育課程表の編成作業を完了するとともに、編成内容の周知徹底を図る。	4	平成24・25年度入学生の教育課程表については、教科・学年・コースの意見を集約して、最終決定の段階まで来た。平成25年度入学生の教育課程表については、今回は仮決定として、来年10月までに正式決定する。
		総合的な学習の時間、道徳教育、特別活動について、関連する分掌と連携しながら全体計画を作成し、実施内容の整備を図る。	3	依然として、総合的な学習の時間の計画は学年・授業担当者に、道徳教育は授業担当者に、特別活動は進路指導部・学年に計画を任せている状況である。今年度末までに、道徳教育の全体計画の作成を終了させたい。
		授業力の向上を図るため、教科および教科間の授業研究の機会を設ける。	2	依然として、研究機会については教科に任せている状況である。来年度は、年間行事予定の中に「授業研究週間」を設定し、授業力向上にむけての態勢づくりを進めたい。
企画部	入学者250名(定員)を確保する。	広報活動を充実させるために、本校ホームページの内容を充実させ、ホットな情報を迅速に発信する。	3	美術コースは年間を通じて頻りに更新してくれた。他の部署も徐々に取り組んでくれている。トータルアクセス数は40万件を超えた。今後は古い写真の更新を含め、全体を更に見やすくしていく努力を継続していきたい。
		中学生・保護者に本校を知ってもらう体験イベントの参加者を多く確保する。体験入学1000名、受験講習会400名。	4	年度の目標をどちらもクリアできたことは大きい。体験入学は1020名、受験講習会は472名。それぞれ改善点はあるだろうが、中学生や保護者は概ね満足し、高評価をしてくれたことがアンケートからも窺える。
管理部	安全な施設の整備を進め、安心して学べる環境を提供する。	施設・設備の維持・管理に努める。	3	震災復旧の工事が予定通り行われた。ガラスなどの破損箇所の修繕もその都度行われた。今後、冬季の施設維持・管理に努めたい。
		図書の実と読書の啓蒙に努める。	3	利用者は以前に比べ、徐々に増えている。生徒会図書委員の活動と連携して、読書の啓蒙に努めている。
		視聴覚機器の維持管理につとめる。	3	特別教室の視聴覚機材の設置、L.L教室の整備、音楽室等の液晶テレビの設置・地デジ化を行った。今後は、先生方の使用方法の習熟を図りたい。
生徒指導部	生徒が明るくいいきと生活できる健全な校風の確立。	登校時の玄関指導を各学年で実施する。	4	各学年で毎日実施している点は、評価できる。教員間で指導に差がある。
		委員会が毎月各クラスの「服装状況調べ」を実施する。	3	集計結果を新聞形式にしてみるのも良いのではないだろうか。

担当	今年度の分掌目標 (今年度の指導の重点達成のため、分掌で掲げた目標)	今年度の具体的取組 (今年度の分掌目標達成のため、具体的に取り組むべきもの)	達成度	次年度に - 継続していきたい成果 ・ 改善すべき課題
生徒指導部	生徒が明るくいいきと生活できる健全な校風の確立。	生徒会を中心とした、生徒による自主的生活指導の推進。	3	挨拶運動をしている生徒会のメンバー達の基本的な生活習慣の確立。
		生徒募集と連動した、二高祭一般公開の内容の充実。	3	<ul style="list-style-type: none"> 一般公開については、昨年度より良かった。さらに充実させるには、準備期間がもう少しあれば→二高祭の準備期間の週は講習がない方向で改善していくべきだ。学校全体でまとまって雰囲気作りも大切。 体験入学との連動。二高祭の一日を体験入学にあてる(2回展示を行うのが大変)。 行事を分散して欲しい。学年行事デーを球技大会にしたらどうか。 知の講座、体験入学と連動。球技大会の分離を検討(6月か9月へ)。
		二高祭・芸術鑑賞会を通じた地域貢献と開かれた学校づくりの推進。	3	芸術鑑賞会は、幅広く地域の方々を呼べるような内容を精選する。
		予算の工夫や中学校との連携を通じた部活動の活性化。	3	ソフト部が中学校を対象に大会を企画・運営。来年度も継続させたい。
		部活動の振興を目的とした校内インフラの整備。	2	部活動支援コーチについての内容の検討(来年度からの実施にむけて)。
		学校危機管理マニュアル等の整備と改訂。	4	4月に危機管理マニュアルを作成し、教職員全員に配付した。
		緊急時に対応したメール配信システムの構築(教務部と連携)。	3	12月に申し込み受付を実施、1月から配信を開始する。
進路指導部	キャリア教育の推進及び進路実績の向上。 (大学短大進学率70%、国公立大学30名合格)	キャリア教育の実践—社会を構成する一員としての職業人の育成をめざす。	3	(3の下) 1年次の総合的な学習の時間や2・3年次のLHRの時間内での取り組みに加え、学外学習の発表会、インターンシップ開催等の取り組みは、行事間の繋がりを強め、学年進行と共に時系列に目的と目標を明確にすることで、一層充実が図られる。
		進路実績の向上—難関大学合格を含む個々の希望進路実現のための学力の向上を図る。	3	(3の上) 入試形態多様化への対応力が向上した。今後、学習環境の整備と、選択肢としてのそれぞれの項目の狙いを明確に提示することで、更なる効果が期待できる。
		進路情報の共有と研究—連携会議を活性化し、今年度の進路目標達成に向けて全職員が一致団結して取り組むよう、啓蒙を図る。	3	(3の中) 連携会議を恒常的に開催できた。確認作業からもう一段階向上させ、プレストを活発化させることで、学年進行と共に対策の内容が雪ダルマ式に濃くなるようにしたい。
保健部	3年生の麻疹予防接種率を90%以上に高める。	学年集会の場で保健部から予防接種の必要性を訴える。	3	学校全体の生徒への呼びかけは、担任を通してLHR・SHRで行うことで効果が上がると考えられる。
		「学年だより」の中に接種呼びかけの記事を載せる。	2	学年だよりに掲載するほかに、単独のプリント及び保健室だより等で呼びかけるようにすることで、効果は大だと考えられる。
		保健室からアンケート結果をもとに未接種の生徒に呼びかける。	4	担任からの個別の呼びかけが効果大であったので、次年度も継続すべきである。
渉外部	PTA行事や各種委員会活動への参加率を向上させる。	案内文書の適切かつ確実な配付時期の設定。	3	複数の案内文書が重なって配付されることがあったが、日程的には調整できないものであった。
		PTA委員・役員の連絡網の整備。	3	今年度は適切に整備発送まででき、年度途中の委員増にも対応した。
		ホームページ上に案内文書を適宜掲載する。	4	可能な限り全体向けの文書案内は掲載できた。